

済生会滋賀県病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用又は提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名 (倫理委員会受付番号)	集中治療領域におけるレミフェンタニルの使用が排便に与える影響の検討 784
当院の研究責任者	薬剤部 梅原 せいら
他の研究機関および各施設の 研究責任者	該当無し
本研究の目的	2022年より集中治療における人工呼吸中の鎮痛にレミフェンタニルが適応となり、当院では2025年3月よりフェンタニルからレミフェンタニルへ切り替えを実施した。集中治療管理中は栄養管理を進める上で、排便コントロールが重要であるが、フェンタニルとレミフェンタニルを比較した研究では、腸管への影響に関する報告は少ないため、鎮痛剤の切り替えが排便に及ぼす影響を比較検討することを目的とする。
調査データ該当期間	2024年3月1日から6月30日 (フェンタニル使用) 2025年3月1日から6月30日 (レミフェンタニル使用)
研究の方法 (使用する試料等)	●対象となる患者様 上記期間内にICUへ入室され、3日以上在室かつ人工呼吸器管理を行い、排便プロトコルに従って排便管理をされた方。 ●利用する情報 年齢、性別、ICU入室理由、ICU入室時診療科、主病名、初回排便までの日数、便秘・下痢の発生頻度、便性状、腹部膨満感の有無
試料/情報の他の研究機関への 提供及び提供方法	他の期間への試料・情報の提供はない
個人情報の取り扱い	利用する情報から氏名や住所等の患者様を特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も患者様を特定できる個人情報は利用しません
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業等はありません
お問い合わせ先	電話番号：077-552-1221 (代表) 所属・職名：薬剤部 薬剤師 担当者氏名：梅原 せいら
備考	